

12月1日から衣類の洗濯表示が変わります

なぜ表示が
変わるの？

- 近年、衣類などの生産や流通は海外との取引が一般的になっています。
- 家庭洗濯で使用する洗濯機や洗剤類の多様化、商業クリーニングの技術進歩があります。

↓
繊維製品を取り巻く環境が大きく変化してきたため、国際規格の表示記号に変更！
(国内外での表示が統一されると、例えば海外で購入した繊維製品の取扱いが円滑に)

新しい「洗濯表示」のポイントとは？

「基本記号」と、「付加記号」や「数字」の組み合わせで構成されます。

● 5つの基本記号

※右記の順に表示されます。



● 付加記号と数字

文字ではなく、記号と数字で強さや温度、禁止を表します。

強さ 基本記号の下に付加

- 線なし 通常の強さ
 - 弱い
 - == 非常に弱い
- 「線(—)」が増えるほど作用は弱くなります。

温度 基本記号の中に付加

- 《記号》
- ●● ●●●
- 低 → 高
- タンブル乾燥やアイロンの温度は「点(●)」で表します。数が増えるほど温度は高くなります。

《数字》 【例】



数字は家庭洗濯での洗濯液の上限温度です。

禁止

-
- 基本記号と組み合わせ、禁止を表します。

※国際規格の記号に統一し世界で共通に使用できるようにしたため、記号内に日本語は記載できません。そのため、記号だけでは伝えられない表示者からの参考情報は、簡単な言葉で記号に近くに記載される場合があります。よく読んで、衣類の取扱いの参考にしましょう。

《シリーズ》 「洗濯表示」の記号と意味

① 家庭洗濯の記号と漂白の記号

記号 (付加記号を含む)	意味
<p>家庭洗濯の記号</p>	<p>家庭洗濯（洗濯機洗い、手洗い）ができます。記号の中の「数字」は洗濯液の上限温度です。「—」は「線なし」よりも弱く、「=」は更に弱い洗濯機での洗い方です。</p>
	<p>「手洗い」をします。洗濯液の上限温度は40℃です。※手洗いとは「押し洗い」、「振り洗い」、「つかみ洗い」など、手で優しく洗う方法です。</p>
	<p>家庭での洗濯はできません。</p>
<p>漂白の記号</p>	<p>△ 塩素系漂白剤や酸素系漂白剤で漂白ができます。</p> <p>△ 酸素系漂白剤のみが使えます。</p> <p>△ 漂白剤は使えません。</p>